



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 リオン株式会社

コード番号 6823 URL <http://www.rion.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水健一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業支援本部長 (氏名) 大内武彦

TEL 042-359-7099

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,185	△3.2	174	△49.5	195	△48.0	144	△40.0
28年3月期第1四半期	4,323	5.4	345	7.4	376	14.2	241	28.0

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 53百万円 (△83.8%) 28年3月期第1四半期 329百万円 (38.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	11.79	—
28年3月期第1四半期	19.76	19.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	25,464	16,908	66.4
28年3月期	25,677	17,039	66.4

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 16,908百万円 28年3月期 17,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	4.8	1,000	12.5	1,000	6.4	700	14.0	57.02
通期	19,700	4.5	2,500	10.2	2,500	5.5	1,800	12.9	146.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	12,294,400 株	28年3月期	12,294,400 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	17,136 株	28年3月期	17,136 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	12,277,264 株	28年3月期1Q	12,219,597 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国の経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策が継続されているものの、為替変動による影響や中国等の景気減速への警戒感から、個人消費マインドや企業の設備投資に足踏みが見られ、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような中、当社グループの業績につきましては、医用検査機器の販売が好調に推移したものの、補聴器と微粒子計測器の減収幅が大きかったことにより、全体では前年同期と比べて減収減益となりました。

当第1四半期累計期間の業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(金額単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	増減	増減率 (%)
売上高	4,323	4,185	△137	△3.2
営業利益	345	174	△170	△49.5
経常利益	376	195	△180	△48.0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	241	144	△96	△40.0

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(医療機器事業)

補聴器では、新規顧客の増加とリピーターの創出を図るべく、販売店の新規出店並びに既存店へのきめ細かなサポートを展開するなどの施策に取り組んでおりますが、国内において個人消費マインドの停滞により販売が低調に推移したことに加え、円高の影響により海外での販売が伸び悩んだことから、減収となりました。医用検査機器では、医療機関における買い替えを促進するとともに、教育機関から大口の受注があったことにより、診断用オージオメータやインピーダンスオージオメータなど高額製品の販売が好調に推移し、増収となりました。

なお、補聴器の販売子会社である東京リオネット販売株式会社につきましては、重要性が増したため、当期より新たに連結の範囲に含めております。これにより、当第1四半期における売上高は約1億円増加しましたが、販売費及び一般管理費も同程度増加したことから、営業利益に与える影響は軽微となっております。

これらの結果、医療機器事業全体ではほぼ前年同期並みの売上高となったものの、補聴器に関する販促活動を積極的に実施したことなどにより販売費及び一般管理費が増加したため、減益となりました。

(環境機器事業)

音響・振動計測器では、地震計において高速道路等のインフラ関連市場での販売が好調であった前年同期には及ばなかったものの、騒音計や振動計の販売が堅調に推移したことから、ほぼ前年同期並

みの売上高となりました。微粒子計測器では、電子デバイス関連市場の設備投資意欲が依然として高いことから液中微粒子計の販売が堅調に推移したものの、国内において大口の受注があった前年同期を下回る結果となりました。

これらの結果、環境機器事業全体では前年同期と比べて減収となりましたが、微粒子計測器の売上原価率が低下したため、利益面では営業損失を計上したもののほぼ前年同期並みとなりました。

当第1四半期累計期間のセグメントごとの業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上高			営業費用			営業利益又は 営業損失(△)		
	28年3月期 第1四半期	29年3月期 第1四半期	増減	28年3月期 第1四半期	29年3月期 第1四半期	増減	28年3月期 第1四半期	29年3月期 第1四半期	増減
医療機器事業	2,731	2,721	△10	2,369	2,522	152	361	199	△162
環境機器事業	1,592	1,464	△127	1,608	1,489	△119	△16	△24	△8
計	4,323	4,185	△137	3,978	4,011	33	345	174	△170

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医療機器事業では、補聴器の新製品として、中価格帯の「リオネットプレシアⅡV」、普及価格帯の「リオネットクラスセ」及び「リオネットウィー」に加え、高度・重度難聴の子ども向けの「リオネットピクシー」を本年7月20日に発売いたしました。これまでになく多数の新製品を同時に市場投入することにより、売上高の回復を図ってまいります。医用検査機器においては、耳鼻咽喉科市場での買替需要が引き続き継続するものと予想しており、併せて中国を中心とした海外市場の拡大に取り組むことにより、販売は好調に推移するものと見込んでおります。

環境機器事業では、音響・振動計測器において、下期にかけて増加が見込まれる地震計の案件を捕捉するとともに、中国や東南アジアを中心とした海外展開を引き続き推進することで、売上高の増加を見込んでおります。微粒子計測器においては、電子デバイス関連市場での微細化に伴う設備投資による液中微粒子計の需要を確実に捉えるとともに、医薬関連市場では再生医療分野での気中微粒子計の拡販に努めることで、第1四半期の減収分を補ってまいります。

以上のことから、連結業績予想につきましては、医用検査機器の販売が引き続き好調に推移するとともに、補聴器と微粒子計測器の売上高が第2四半期以降回復するものと見込んでいることなどから、平成28年4月28日に公表した数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,998,098	3,303,255
受取手形及び売掛金	5,818,468	5,076,892
たな卸資産	3,670,138	3,848,237
その他	876,350	998,497
貸倒引当金	△17,567	△19,467
流動資産合計	13,345,487	13,207,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,166,982	2,148,880
土地	6,401,614	6,401,614
その他(純額)	950,189	959,403
有形固定資産合計	9,518,785	9,509,897
無形固定資産		
投資その他の資産	623,705	656,418
その他	2,278,917	2,094,582
貸倒引当金	△89,208	△3,626
投資その他の資産合計	2,189,708	2,090,956
固定資産合計	12,332,200	12,257,272
資産合計	25,677,687	25,464,688
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,248,594	1,229,454
1年内返済予定の長期借入金	616,472	571,472
未払法人税等	265,112	71,908
未払費用	231,359	1,005,131
賞与引当金	817,809	415,999
製品保証引当金	177,274	177,939
返品調整引当金	53,955	49,794
その他	203,285	172,330
流動負債合計	3,613,862	3,694,029
固定負債		
長期借入金	495,362	383,744
退職給付に係る負債	2,860,537	2,815,539
その他	1,668,794	1,663,084
固定負債合計	5,024,694	4,862,367
負債合計	8,638,557	8,556,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,014,613	2,014,613
資本剰余金	2,438,112	2,438,112
利益剰余金	8,655,446	8,616,097
自己株式	△10,138	△10,138
株主資本合計	13,098,034	13,058,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480,855	395,120
土地再評価差額金	3,545,298	3,545,298
退職給付に係る調整累計額	△85,057	△90,813
その他の包括利益累計額合計	3,941,096	3,849,606
純資産合計	17,039,130	16,908,291
負債純資産合計	25,677,687	25,464,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,323,567	4,185,979
売上原価	2,038,790	1,943,715
売上総利益	2,284,776	2,242,263
販売費及び一般管理費	1,939,755	2,067,871
営業利益	345,021	174,391
営業外収益		
受取利息	1,278	818
受取配当金	18,436	6,560
受取家賃	7,236	11,988
受取保険金	2,082	3,701
その他	8,246	7,073
営業外収益合計	37,280	30,142
営業外費用		
支払利息	3,720	1,944
支払手数料	2,139	5,857
その他	171	1,169
営業外費用合計	6,030	8,971
経常利益	376,271	195,562
特別利益		
固定資産売却益	-	106
特別利益合計	-	106
特別損失		
固定資産除却損	1,523	2,092
特別損失合計	1,523	2,092
税金等調整前四半期純利益	374,748	193,576
法人税、住民税及び事業税	216,011	121,745
法人税等調整額	△82,681	△72,978
法人税等合計	133,330	48,767
四半期純利益	241,417	144,809
親会社株主に帰属する四半期純利益	241,417	144,809

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	241,417	144,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,863	△85,734
土地再評価差額金	2,045	-
退職給付に係る調整額	1,640	△5,755
その他の包括利益合計	88,549	△91,490
四半期包括利益	329,967	53,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,967	53,319
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,731,485	1,592,081	4,323,567	—	4,323,567
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,731,485	1,592,081	4,323,567	—	4,323,567
セグメント利益 又は損失(△)	361,562	△16,540	345,021	—	345,021

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,721,282	1,464,696	4,185,979	—	4,185,979
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,721,282	1,464,696	4,185,979	—	4,185,979
セグメント利益 又は損失(△)	199,032	△24,641	174,391	—	174,391

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

製品及びサービスごとの情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位：千円)

	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	微粒子計測器	合計
外部顧客への売上高	2,261,579	469,905	798,445	793,636	4,323,567

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位：千円)

	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	微粒子計測器	合計
外部顧客への売上高	2,172,891	548,390	779,444	685,251	4,185,979